

■TTL-3/USB_Pana■ Flashi-ROM 接続

・Flashi-ROM を接続するパターンは2パターン有ります。

1パターン：半田でFlashi-ROMをSOPクリップで接続する方法

2パターン：Flashi-ROMをマザーから半田を使い取り外し、DIP変換基盤に取り付け解除を行う方法。

★接続時にはTTL-3/USB本体のUSBはPCに接続しないでください。

Flashi-ROM接続確認後USBを接続するようにしてください。

※先に1パターン目を以下説明します※

(SOPクリップはオプションです、標準には含まれていません)



※TTL-3/USB_PanaにSOICクリップ付属の拡張基盤を取り付けた図
青マーク側が1番/8番になるように取り付けます。

※本体のラベルに入っている青い○シールは1番ピンの方向です。

※1 番ピン側に SOP クリップのプラグを指します、コネクター端の赤線が 1 番側に入ります。



※CF-J10 のマザー上の Flashi-ROM を SOP クリップで挟んでいます。

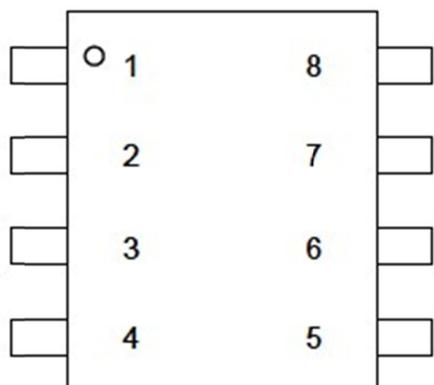


※SOP クリップの即目に V カットの傷（凹み）の有る所が 1 番ピンです。
Flashi-ROM の 1 番ピン（丸凹み）の有る部分が 1 番ピンになります。
Flashi-ROM についてはこの説明の下に詳しく記載します。

※クリップの両脇で Flashi-ROM を挟み込むようにして固定されます。
認識の有無については、[(参照 A) 解除操作 A を参照にしてください。]



(参照 A) Flashi-ROM は以下図参照



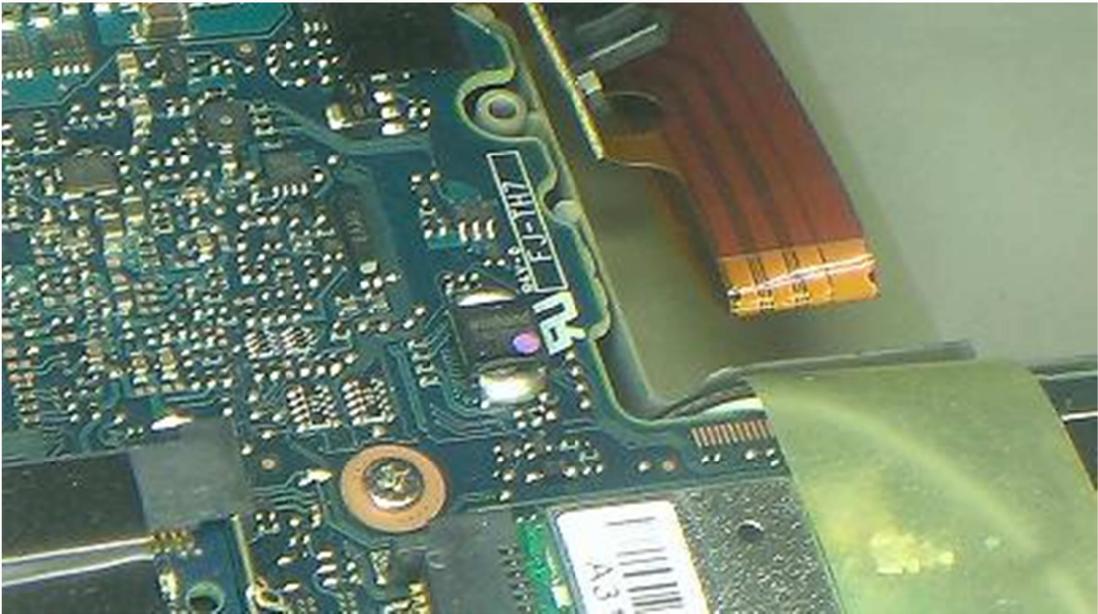
※1 番ピンの脇に凹みで丸が有ります、この部分が 1 番ピンになります。
尚逆さまに取り付けると破損する恐れが有るので
慎重に作業してください。

<Flashi-ROM を DIP 変換基盤に取り付けて解除を行う>

※この作業はハンダを使います、半田の表面は高熱で触れると火傷や加熱したコテの管理不十分ですと、火災を起こす事が有ります。半田を使う場合は、半田コテの場所から離れる場合、必ず電源を OFF にしてください。

• CF-J10 の Flashi-ROM を参考に説明します。

低温溶解半田で Flashi-ROM の足全てに低温半田を流したところです。



※低温溶解半田もしくは SOP8 取り外しについては WEB ページ上の動画を確認ください。

※Flashi-ROM は大半マザー上では本体にマーキング、赤/青/黄などのマーキングされています。表に無い場合も有ります。

※以下の図は低温溶解半田を使い取り外した図です。



※DIP 変換基盤に仮止めした図です。



※SOP8 取り付けに関しては、WEB ページの動画で確認ください。

※青丸が1番ピン側です、以下のようにになるようにDIP変換基盤を挿入してください、半田付で短絡などが無いか確認ください。



※解除作業[参照 A]へ

<解除作業参照 A>

※この作業を行うには、Flashi-ROM の接続が完了していることが前提で。
未だ TTL-3/USB_Pana に Flashi-ROM の接続がされていない場合。
解除の機能は果たしません、必ず Flashi-ROM 接続を終えた後以下説明を
読み、解除されてください。

<Flashi-ROM 接続を確認した後>

1. USB を操作する PC に接続する。
2. Tera Term を起動する、必要であれば、シリアルポート COM の選択
を行う。
3. TTL-3/USB からメインメニューの表示が出たら、操作できます
以下図参照

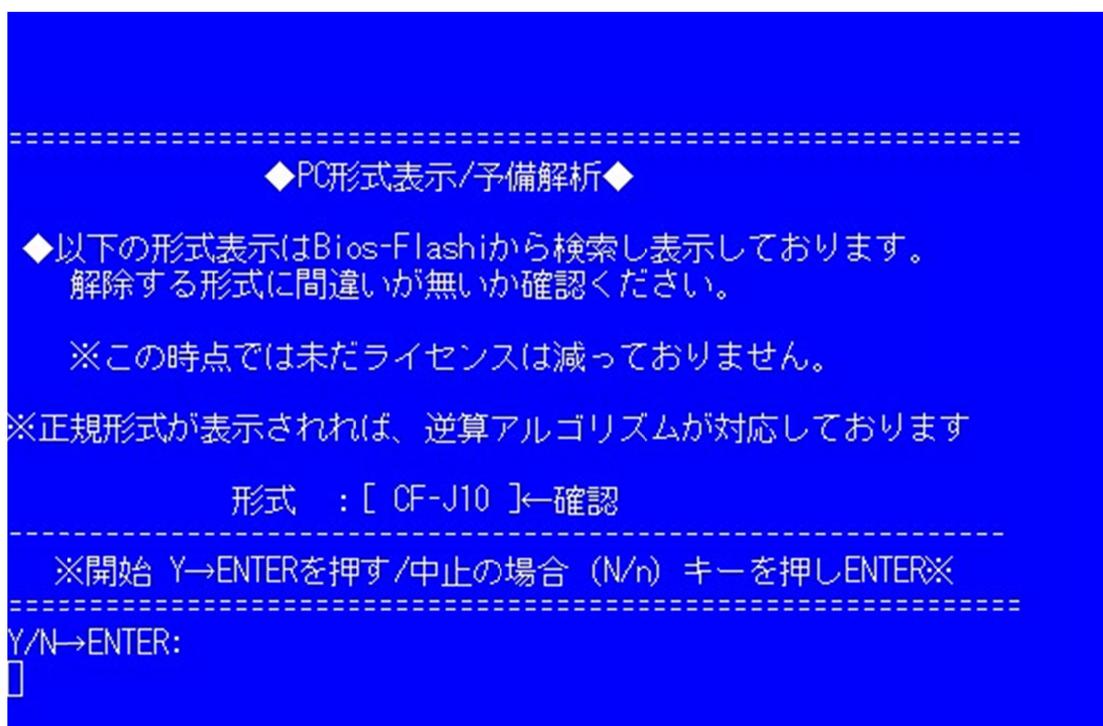
```
◆個人向 TTL-3/USB(Pana)◆ Sys_Ver 2.6u ALG_Ver 2.0a
===== Main Menu =====
◆利用可能ライセンス数：105回/現在までの利用回数：3回
-----
※利用可能ライセンス数と利用回数が同じになると全ての機能は停止します
 新たに追加ライセンスを購入してください
-----
◆ 1：自動解析/解除機能 (1台解除に1つのライセンス消費)
-----
◆ L：ライセンス追加(メールのやり取りで即日追加可能です。)
  (ライセンス追加は有料/別途購入になります。)
-----
◆初期動作保証期間◆(ハード単体の保証です、ライセンス回数は含まれません)
購入日時：2014年8月27日です、初期保証期間：2014年11月27日迄です。
-----
Copyright(c) 1992-2014 : By OME
Pin-Code [
http://www.ogatama.com MADE IN JAPAN
[Support e-mail: unlockbios@ae.auone-net.jp]
-----
◆解除作業選択 (1-L Key→ENTER):[]
```

※上記図が出たら、操作できます、上記の図が出ない場合
USB ドライバーが認識されていないか、もしくは Tera Term
設定ファイルのコピーが行われていない可能性が有ります。

※尚画面に文字化けが出る場合、設定ファイルを Tera Term
フォルダーにコピーしていない場合このような現状が出ます。

<解除を行う>

1. 上記のメインメニューで(1)キーを押し **ENTER** を押します。
以下図参照、全ての操作に **Y** キー **ENTER** が必要です。
完全自動では有りません、確認が必要になります。



- ※接続された **Flashi-ROM** 内から **PC** の形式 **CF-XXX** を表示します。
表示された形式が有っている場合、解除はできます、表示されない場合や
違う形式が表示される場合、解除はできません。
尚 **CF-S1** などのように後ろに **[-]** バーが入る場合問題なく解除できます。
[-] が入るのは **TPM** ロック時に表示されます。

※解除までの解析は2回有ります、この時点では、形式表示、エリア解析を行っております、この時点では解除までしていません。

```
=====
                ◆自動解析:開始◆
                ※この作業は最短1分～最大3分ほど時間を有します。
                ※ここから特殊アルゴリズム解析（自動）にて解除を行います。
※必ず完了の表示が出るまで、USBを外したり、DIP変換基盤をTTL-3/USB
  から外したりしないでください、逆算中に外すと、フラッシュ内のデータ
  が消去され、使えなくなります、完了までそのままにしておいてください。

System: Mode-2
-----
                ※開始 Y→ENTERを押す/この時点で中止はできません
=====
Y→ENTER:[]
```

※以下の表示が出ると、自動解除を実行しております、この時間は2回で7分ほどの時間が掛かります。

```
=====
                ◆自動解析開始◆
                この作業は1秒～1分ほどで完了します
                ※ここから自動解析に入ります、ライセンスが1つ減ります※
                ※ここから先は自動解析になります、確認以外は自動で解析します※
                以下のYキーENTERを押すと開始します、一度開始すると作業中断でき
System : Mode-1
-----
                ※開始 Y→ENTERを押す/中止の場合 (N/n) キーを押しENTER※
=====
Y→ENTER:[]
```

※この画面以降は中止できません、ライセンス1つ減少します。

※解析中に以下のような表示[#\$1===OK]の表示が出ます。

この表示は解析解除がブロックごとに完了した事を表します。

[#\$1===NG]の表示が出たら、作業は中断し、ライセンスは+1になります。
NGの場合、半田ミスもしくはクリップ接続不良の場合出ます。

```
=====
                        ◆特殊アルゴリズム解析中◆
◆この作業は最少1分～最大3分ほど時間が掛かります。
=====
#$1===OK
#$1===OK
#$1===OK
#$1===OK
#$1===OK
#$1===OK
```

※解除は2回有ります、1回目でデータ領域計算を行い2回目で解除の符号を書き込みを行います。

これらは全て自動化されていて、知識が無くても解除されます。

```
=====
                        ◆特殊アルゴリズム解析中 2回目◆
◆この作業は最少1分～最大5分ほど時間が掛かります。
=====
#$H===OK
#$H===OK
```

※この作業が最後で、この作業は1分～5分ほど掛かります。

★解析と解除を合計4工程で行っております。

全ては確認頂き Y キーENTER で実行します。

解析の段階で N キーENTER で中止できます、この場合ライセンスは減りません。

但し解除を開始してからの USB ケーブルの抜差し、DIP 変換基盤の取外し SOP クリップ取り外し等を行うと、ライセンスは+1になりません。

<注意>

- ・解除工程前に必ず、PC形式の表示が出ます、これは内臓のアルゴリズムが対応しているかの確認で、形式が正式表示でない場合、解除はできません。アルゴリズムは2億8921パターン内臓されていますが、全て100%解除ができる保証は有りません。

BiosのVerが新しくなり対応できない場合も有ります。

※アルゴリズムと内部ソフトについて※

内部のソフト（ベース）、アルゴリズム部は日々アップデートしております。非対応のPCの場合、形式などの連絡を頂ければ、対応している可能性が有ります。

この場合TTL-3/USBを配送頂き、システムアップデートを行い対応します。但し往復の送料は依頼者負担です。

- ※スポンサー様に限りアップデートは無料で行いますが、それ以外の一般の方の場合アップデートは3,800円の工賃が発生します、往復の送料も依頼者負担となります。

※暗号化されていた情報などは、本体TTL-3/USBに記録されません。

リソース領域は計算領域とされています。

毎回解除した情報を記録する場所は有りません。

毎回解除毎に内部のリソース領域は初期化され、自動再起動を行っております。

- ※つまり解除後ロック解除前に戻す事はできません、後からパスワードが分かっても元の状態に戻す事はできませんので、御了承ください。

※解析/解除中内部では高度な演算を毎秒3892回計算しております。

外部からのノイズ（USB経由）などのノイズの影響で誤算が出る事が有ります、この場合再計算になり解析時間が伸びます。

※TTL-3.USB本体の暴走について

- ・熱暴走は有りませんが、TTL-3./USBはノイズに弱く、ノイズ対策しても電子レンジや、溶接機などのノイズにより、解析段階での計算ができず停止してしまう事が有ります、この場合USBケーブルを外し3分ほどしてから、再度実行してください。尚解析段階ですので、ライセンスは減りません。

※このマニュアルは予告なしに更新していきます。